

どんなときでも笑顔忘れず

都会での学生生活で小浜のよさを
実感。「就職は地元で」と決め、希望ど
おり(株)福井銀行に入行して1年目の
江口さん。「利用者として見ていた銀
行と働いて知る銀行の違いに驚きま
した。日々の事務処理に伴う責任の
重さを感じています」と話し、「てき
ぱきと処理をこなす先輩の下で仕事
を覚える毎日です」と一生懸命です。
「仕事は、自分だけでは回らない」
ということも分かりました。自分が
担当する処理が次の処理につながっ
ているという実感がやがいにつな

がっています」と語ってくれます。
昨年、会社から地域のイベントにス
タッフとして参加したとき、「市内の
事業所の方々と交流があり、産業の
幅広さなど地元の魅力を再発見でき
ましたと、小浜がますます大好きに。
休日は、車で京都や神戸に出かけ
たり、母といっしょにママさんバレ
ーに参加したりと活動的な江口さん。
一番大切にしていることは笑顔と
言います。「どんなときでも、笑顔
を忘れず、一日一日を勤めたい」と持
ち前の爽やかな笑顔が印象的です。



勤務先 (株)福井銀行小浜支店
えぐち なるみ
江口 成美 さん
(23 歳・口田縄)

きりり! 小浜人

飼いいヌとの信頼関係を大切に

警察犬協力会として、警察犬の普
及や犬のしつけ教室開催に取り組む
大森さん。自身もこれまで6頭の囃
託警察犬を育ててきました。「27年前
に大型犬を飼うことになり、他人に
迷惑をかけられないと、勉強したこ
とがきっかけです」と振り返ります。
育てるうちに深い信頼関係で結ば
れるようになり、「この子と一緒に人
の役に立ちたい」と警察犬に申し込
みました。歴代飼いいヌやその子孫は
国内外で活躍。大森さんを頼って、飼
い方を学びにくる人も増えています。

一方で、飼いい主に捨てられ、転がり
込んで来るイヌやネコもいると言
います。「動物を命ではなく物として扱
う人もいます」と警鐘を鳴らします。
「動物は、飼う人の考え方や育て方、
コミュニケーション次第で、かけが
えない宝物になります。悩んでい
る人はぜひ教室に参加してください」
同会では、『犬のしつけ教室』の
参加者を募集中。4月15日①13時30
分から台場浜公園(川崎二丁目)で。
参加無料。雨天中止。問い合わせは、
大森さん ☎52・5366まで。



福井県警察犬協力会 事務局
おおもり かずよ
大森 和代 さん
(60 歳・奈胡)

全員の音をビシッと合わせたい

部員数34人と大所帯の小浜第二中
学校ブラスバンド部で部長を務める
西岡鈴香さん。入部の動機は、「友だ
ちのお姉さんの演奏を見て、その格
好よさにひかれたから」。入部すると、
いろいろな楽器を体験する「楽器め
ぐり」でやりたい楽器を決めるとか。
西岡さんは、希望どおり、「このとき一
番吹けた」というテナーサクソに決
めました。「中音域のやわらかい音色
が好きなんです。主旋律を支えるメ
ロディーを奏でるのも魅力です」
1月の嶺南アンサンブルコンテス

トに二中から7チームが出場し、サッ
クス三重奏で挑んだ西岡さんのチー
ムが奨励賞に。「まだまだこれから。
夏の県吹奏楽コンクールでは部として
金賞を目指します」と「宣言」します。
「打楽器は叩けば音が出ますが、管
楽器は息が管を通る分一瞬遅れるん
です。そのタイミングを合わせるのが
難しい。息の入れ方など、これまで先
輩からもらったアドバイスを後輩に
伝え、全員が集中して、リズムと音の
タイミングをビシッと合わせられる
ようにしたいです」と意気込みます。



ブラスバンド部 部長
にしおか すずか
西岡 鈴香 さん
(小浜第二中学校 2 年生)

駆ける思い チームの気持ち一つに

県内の陸上部でも一番部員数が多
い若狭高校陸上部。男女合わせて50
人のチームをまとめるのが、キャプ
テンの久松くんです。走るのが得意な
野球少年でしたが、陸上に打ち込む姉
と兄の背中を追いかけて入部。10月の
北信越新人大会では400m走で3
位に入るという好成績を残しました。
久松くんが大事にするのは、「目的
を持った練習」をすること。「自分の現
状から課題を見つけ、試行錯誤する
中で、感覚や技術が身に付いたとき
がうれしいです」と笑顔で話します。

春季総体での北信越大会出場、さ
らにその先を目標に、みんなで練習
に励む日々。「個々の考えは尊重しつ
つも、チームの目指す方向や気持ち
を一つにしたい」と意欲をみせます。
陸上部顧問の長谷先生も、「よく考
えて練習ができるタイプ。責任感が
強く、視野も広い」と信頼を寄せます。
「目標のために努力することの大切
さ」を陸上を通して教わったと言
う久松くん。「ここで学んだことを、将
来、社会に出たときに生かしたいで
す」と力強く話してくれました。



陸上競技部 キャプテン
ひさまつ かんた
久松 寛太 くん
(若狭高校 2 年生)

法海・荒木の勧請縄

市内を移動していると、「どうしてここにあるの？」と思うものがいくつかあります。その一つが、加斗地区法海や荒木の入口にかかる『勧請縄』です。

毎年1月の六日講（法海）、二十日講（荒木）で区の入口にかけられるわらの蛇は、顔がその年の恵方を向いています。

区の中に厄が入らないようにと願いが込められた縄は、青空に大変よく映えます。ある条件で縄が切られてしまうので、写真を撮るタイミングが難しいです。

写真は法海区のもので。冬の晴れ間を探して撮りに行きました。この勧請縄の蛇の顔はとても趣があり、見ていると気持ちが穏やかになります。



【問い合わせ】
商工観光課 ☎ 内線 220

【アクセス】
法海・荒木の集落入口
JR 加斗駅から車で10分程
舞鶴若狭自動車道小浜西ICから車で10分程
(文と写真: 地域おこし協力隊 アイザワ)

健康長寿のススメ

知って得するがん検診⑤ 「乳がん」

40歳から適用となるマンモグラフィ検査は、触診では分かりにくい、ごく初期の小さいがんを発見することができます。

市が実施する乳がん検診受診者(40歳以上2年に1回)は、年間800人程度で、精密検査の対象になる人は8割程度です。その中から、毎年数人ががんが発見されています。

乳がん検診の状況

乳がん検診は40歳から2年に1回!

- ① 40歳から2年に1回、欠かさず受けること
- ② 検査方法は「マンモグラフィ検査」。市の集団検診(巡回バス検診)では、女性の検査技師が対応しますので、積極的に受診を。

- 次回のテーマ
知って得する がん検診⑥
「がん検診を受けよう」
- 問い合わせ 健康管理センター
☎ 52・2222

マンモグラフィ検査



若年層が早期に乳がんを発見するには…

マンモグラフィ検査だけでは発見されにくい39歳以下の年齢層の乳がんは、自己検診が有効です。

乳腺と乳がんのしこりの違いを触って感じるには、入浴時など日常的に乳房に触れてチェックする習慣を身につけておくことが大切です。

乳房のしこりや異常を感じたら、乳がんの専門診療科である「外科」を受診しましょう。

「乳がん」ってどんな病気

母乳がつくられる乳腺にできるがんが乳がんです。女性に一番多いがんで、30歳から増加し、40〜50歳代が発症のピークとなっています。

乳がんのリスク

乳がんを発症した人の5〜10割程度は遺伝子の異常、残りの90割近くは生活習慣が関係していると言われています。近い血縁者に乳がんや卵巣がんにかかった人がいる場合、遺伝的に乳がんになりやすい体質を受け継いでいる可能性があります。

発症リスクに深い関係があるものとして、女性ホルモンのエストロゲン、喫煙や習慣的飲酒、肥満が挙げられます。

支えるチカラ

おもてなしの気持ちで景観美化

すみれの会では、平成22年の発足以降、公立小浜病院を中心とした地域の景観美化活動に取り組んでいます。会長の網本さんに話を聞きました。

「庭園や花壇のお世話を通じて、入院患者さんや市民の皆さんの癒やしになればとの思いで活動しています」

1年後に控えた福井国体の花いっぱい運動にも積極的に参加。「小浜を訪れる人を、おもてなしの気持ちを持って迎えたいです」

平成25年に病院敷地内に完成した薬草園も専門家の指導を仰ぎながら

ハーブや生薬など約100種類の薬草を育てています。薬草学の先駆けと言われる小浜藩医・中川淳庵なかがわじゅんあんの名前を冠する同園。網本さんも「歴史ある地域に誇りを持って、その魅力を発信していきたいですね」と意欲をみせます。

薬草への関心の高まりを受けて、県や市も普及に取り組み出しました。「県下初の薬草園として、内容の充実を務め、多くの方々に薬草のすばらしさを実感していただけるよう、努力していきたいです」と穏やかな笑顔で今後の活動に思いをはせます。



すみれの会 会長
あみもと つねじろう
網本 恒治郎 さん
(76歳・千種二丁目)

アート&カルチャー

地域に音楽の輪を広げたい

「根っからの音楽好きで、楽器もいろいろと楽しんでいます。一番しっくりくるのがチェロなんです」と話す宇野幸男さん。入団して20年になるという弦楽合奏団・アンサンブル若狭の代表を務めています。

バイオリン、ビオラ、チェロ、ピアノなど10人ほどの団員が所属。文化祭での発表のほか、地域の敬老会や病院、福祉施設の慰問などの活動を行い、演奏の場に応じてクラシックから歌謡曲まで幅広く取り組んでいます。

宇野さんの本業は、国家検定1級

の資格を持つピアノ調律師。音楽の恩師の「君は調律師に向いている」の一言で、この道に進みました。「自分は音楽家ではなく職人ですね」とほほ笑む顔はとても満足そうです。

「十分に弾きこなすことは到底できないけど、わずかな達成感を糧に練習に励んでいます」とチェロを構えます。

「音楽は聴くのも素晴らしいけど、自分で奏でることができればもっと楽しい」と語り、「音楽の輪を広げたい」と演奏仲間を募ります。興味のある人は宇野さん ☎ 52・0272まで。



アンサンブル若狭 代表
うの ゆきお
宇野 幸男 さん
(61歳・千種一丁目)